

# 第131回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年2月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,127	-1.94	-0.15	4,060	-0.87	-0.14
東部地区	14,381	0.41	-0.08	5,507	1.71	-0.05
西部地区	10,788	0.67	0.05	3,878	3.93	0.18
駅南地区	6,378	0.47	-0.17	2,576	1.37	-0.38
半田地区	3,512	1.62	0.08	1,262	3.52	0.47
横山地区	5,694	1.55	-0.19	1,835	3.20	-0.27
茨目・田尻地区	6,986	1.43	0.21	2,329	2.14	0.12
荒浜地区	5,281	-0.20	-0.20	2,008	1.72	0.14
その他地区	21,978	-1.73	-0.10	7,243	-0.63	-0.06
西山町地区	6,629	-2.09	-0.06	2,164	-1.05	-0.04
高柳町地区	2,139	-3.12	-0.23	862	-2.59	-0.11
柏崎市計	93,893	-0.43	-0.07	33,724	0.98	-0.03
刈羽村	5,010	-0.13	0.13	1,509	1.89	0.19
小国地区（長岡市）	6,678	-2.75	-0.34	2,146	-1.06	-0.09
出雲崎町	5,416	-1.90	-0.36	1,821	-0.70	-0.10
合計	110,997	-0.63	-0.09	39,200	0.82	-0.03

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で708人、0.63%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が407人、0.43%、刈羽村が7人、0.13%、小国地区（長岡市）が189人、2.75%、出雲崎町が105人、1.90%とそれぞれ減少している。

また、前月比においては、刈羽村が7人、0.13%と増加したが、柏崎市が70人、0.07%、小国地区が23人、0.34%、出雲崎町が20人、0.36%、と減少したことから、全体では106人、0.09%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が330世帯、0.98%、刈羽村が28世帯、1.89%の増加、小国地区が23世帯、1.06%、出雲崎町が13世帯、0.70%の減少となり、全体では322世帯、0.82%の増加となった。

また、前月比においては刈羽村が3世帯、0.19%と増加したが、柏崎市が12世帯、0.03%、小国地区が2世帯、0.09%、出雲崎町が2世帯、0.10%と減少したことから、全体では13世帯、0.03%の減少となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,320		-10.93		4.59	
月間有効求職者	1,208		-3.82		5.13	
月間有効求人倍率	1.09	1.01	-0.09*	-0.01*	-0.01*	-0.03*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が、前年同月比で162人、10.93%の減少となったものの、前月比では58人、4.59%の増加となっている。

一方、月間有効求職者数も、前年同月比で48人、3.82%の減少、前月比では59人、5.13%の増加となった。

月間有効求人倍率は、前年同月比で0.09ポイント下回り、前月比でも0.01ポイント下回った結果1.09倍となり、県平均1.01倍を0.08ポイント上回っている。

なお、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が491人と前年同月比で104人、17.48%の減少となり、月間新規求職者数も365人と前年同月比で21人、5.44%の減少となった結果、月間新規求人倍率は1.35倍と前年同月1.54倍を0.19ポイント下回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年2月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	41	12	27	360	59
共 同 住 宅	0	-2	-1	13	-7
事 務 所	1	-2	1	7	-7
作 業 所 ・ 工 場	2	1	1	25	4
営 業 建 物	0	-3	0	23	-3
公 共 建 物	0	-1	-1	8	-1
そ の 他	5	2	4	107	13
合 計	49	7	31	543	58

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月申請合計が前年同月比で7件の増加、前月比では31件の大幅な増加となり、工種全体では49件の申請となっている。工種別内訳での主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で12件の増加、前月比では一般住宅（併用）で27件、その他で4件の増加となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が28件、増築が17件、改築が4件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が29件（うち新築14件、増築11件、改築4件）、市外施工業者が12件（うち新築11件、増築1件）となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,589	0.14	-0.03	21,113	-4.70	-18.66
電 力	12,548	-2.58	-0.24	47,437	-3.06	1.58

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で95口、0.14%と増加したものの、前月比では25口、0.03%の減少となった。一方、電力では前年同月比で333口、2.58%の減少、前月比でも31口、0.24%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月で1,042kwh、4.70%の減少、前月比では4,844kwh、18.66%と大幅に減少している。一方、電力では前年同月比で1,501kwh、3.06%の減少、前月比では740kwh、1.58%の増加となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	2,021,225	-9.4	3.9	710,347	-2.1	-1.8
営 業 用	315,396	-11.6	-0.9	118,601	-11.9	-1.9
工 場 用	528,743	12.9	-3.2	149,360	-8.3	-2.9
官 公 学 校 用	656,291	-15.0	-3.7	79,000	-9.3	1.1
そ の 他				124	90.8	-7.5
合 計	3,521,655	-8.0	0.9	1,057,432	-4.8	-1.7

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、用途全体では暖冬の影響から前年同月比で8.0%の減少となり、前月比では0.9%の微増となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除く全ての用途で減少、前月比では家庭用を除く全ての用途で減少している。

一方、水道給水量は、用途全体では前年同月比で4.8%の減少、前月比でも1.7%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除く全ての用途で減少しており、前月比では官公学校用を除く全ての用途で減少となった。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	61,035	3.56	-2.50	64,537	3.10	-1.38
西 山	32,260	7.67	0.82	28,375	7.36	0.35
米 山	16,163	21.00	-1.57	14,793	24.53	1.42
合 計	109,458	7.04	-1.40	107,705	6.74	-0.55

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で7,204台、7.04％と増加したものの、前月比では1,560台、1.40％と減少している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で6,806台、6.74％の増加、前月比では598台、0.55％の減少となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターにおいて入口・出口共に増加、前月比では柏崎インターが入口・出口共に減少、西山インターが入口・出口共に増加、米山インターが入口で減少、出口で増加となるなど三者三様となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	328,425	0.23	1.10	140,366	-0.13	0.91
平 残	325,078	0.22	-0.33	137,920	-0.72	0.06

預金は、末残が前年同月比で780百万円、0.23％の増加、前月比でも3,585百万円、1.10％の増加となっている。また、平残においては前年同月比で744百万円、0.22％の増加となっているものの、前月比では1,090百万円、0.33％の減少となった。

一方、貸出金は末残が前年同月比で183百万円、0.13％の減少となったが、前月比では1,278百万円、0.91％の増加となり、平残においても同様に前年同月比で1,010百万円、0.72％の減少、前月比では88百万円、0.06％の増加となっている。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,560	-7.19	-12.97
交 換 金 額	4,682	-3.61	-13.56
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で431枚、7.19％の減少、前月比では829枚、12.97％と大幅に減少している。また、交換金額も同様に前年同月比で175百万円、3.61％の減少、前月比では735百万円、13.56％の大幅な減少となった。なお、不渡手形は2ヶ月連続で発生しておらず、前年同月比で8枚、8百万円の減少となっている。

平成19年2月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は4件（前年同月2件、前月2件）、負債総額34億円（同23億円、同5億円）、1件当たりの負債額8億円（同11億円、同2億円）となっている。なお、柏崎地域では発生してはおらず、県内地区別では下越地区3件（新潟市2件、燕市1件）、中越地区1件（長岡市1件）、上越地区は発生していない。業種別は製造業3件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は販売不振1件、放漫経営1件、経営者の病気・死亡1件、その他1件となっている。当月は大型倒産（負債10億円以上）が1件発生しており、企業倒産の件数・負債総額ともに前年同月、前月を上回っている。

日銀が2月21日に政策金利を引き上げているが、急激な倒産件数の増加には繋がらないと思われる。しかし、金利上昇の影響や資源価格の高騰などによる収益圧迫要因も軽視できない状況にあるため、借入依存が高く厳しい資金運営を強いられている企業にとっては、今後の金利動向によっては看過できない影響が出てくる可能性も考えられる。